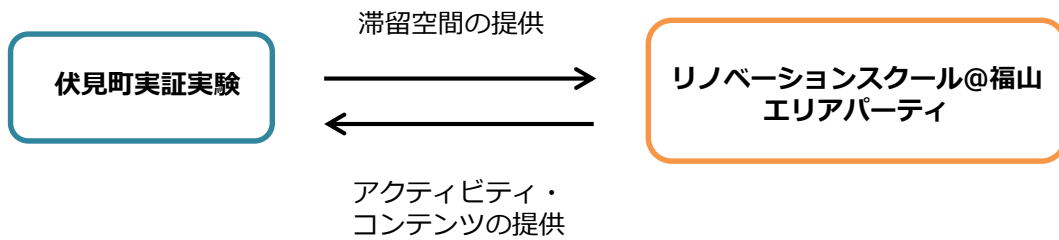


## 今年度の伏見町実証実験について

### 1. 概要

- **日時** : 10/5 (土) 10:00~21:00、10/6 (日) 10:00~16:00 ( エリアパーティと連携 )
- **テーマ** : 小さくても居心地の良い、日常的に利用して時間を過ごしたくなる小広場
- **目的** : 修復型まちづくりでイメージされる将来像ではヒューマンスケールな広場空間の創出も重要な構成要素として期待される。小さくても魅力あるパブリック空間の創出について、市民の新たな空間体験の機会をつくることを目的とする。
- **空間デザインのポイント**
  - ・ 休息やおしゃべり、読書など、パブリック空間で小さくても多様なアクティビティを生み出す
  - ・ イス・テーブル等のほか、人工芝や植栽等により潤いの要素を加えた滞留空間を創出することを重視
  - ・ 加えて、空間を分節化できる什器を導入することでさらに高い効果を期待
- **さらなる効果を生み出すために**
  - ・ エリアパーティとの連携、地元店舗による仮設店舗での販売、図書館からの本の貸与によるライブラリーの設置など、滞留のきっかけとなるコンテンツを導入し、空間の居心地の向上につなげる
  - ・ 夕方以降は道路空間を利用するなど、時間帯によって異なる空間利用や活用を促進
  - ・ 来場者や参加者にアンケートやヒアリングを実施し、実証実験の効果を検証する

### 2. 伏見町実証実験とエリアパーティの連携



### 3. 体制

福山市・UR都市機構・(株)leuk・(株)リノベリング・伏見町町内会

### 4. 実施イメージ

